

## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月15日

上場会社名 株式会社あかつき本社 上場取引所 東  
 コード番号 8737 URL <https://www.akatsuki-fg.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島根 秀明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員社長室長 (氏名) 北野 道弘 TEL 03-6821-0606  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2023年3月期第1四半期	7,615	△15.7	3,442	△19.9	68	△86.9	102	△77.8	77	△75.5
2022年3月期第1四半期	9,037	31.2	4,295	50.6	523	363.3	459	—	313	—

（参考）税金等調整前当期純利益 2023年3月期第1四半期 102百万円（△77.6％） 2022年3月期第1四半期 455百万円（－％）

（注）包括利益 2023年3月期第1四半期 80百万円（△74.4％） 2022年3月期第1四半期 313百万円（－％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	2.51	—
2022年3月期第1四半期	10.19	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2023年3月期第1四半期	67,040	14,563	20.7	453.19
2022年3月期	64,183	14,772	22.0	459.66

（参考）自己資本 2023年3月期第1四半期 13,892百万円 2022年3月期 14,091百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	9.50	—	8.50	18.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	9.50	—	9.50	19.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期の中間及び期末配当予想は、現時点で9.5円でございます。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
通期	39,500	11.9	1,900	21.2	1,800	46.5	1,000	△0.8
	～44,400	～25.7	～3,000	～91.3	～2,800	～127.8	～1,700	～68.7

※参考情報として「税金等調整前当期純利益連結業績予想」も開示します。

税金等調整前当期純利益：1,800～2,800百万円（対前期増減率：26.7％～97.0％）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	34,029,544株	2022年3月期	34,029,544株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	3,374,529株	2022年3月期	3,374,179株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	30,655,203株	2022年3月期1Q	30,803,710株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、ESOP信託口及びBBT信託口が所有しております当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日まで)において、当社グループは以下のような取り組みを行ってまいりました。

#### ① 証券関連事業

あかつき証券㈱では、金融商品仲介(IFA)ビジネスの拡大、及び金融機関とのアライアンスの強化を戦略的に進めています。

IFAビジネスでは、契約外務員による顧客サポートの更なる充実に寄与すべく、顧客管理システムの機能充実を図っています。取引利便性向上のために昨年導入した、営業員による株式・投資信託等のモバイル端末からの取引発注システムも認知が進み、取引量の増加が見られます。

金融機関とのアライアンスとしては、4月に関信用金庫及び芝信用金庫の2社と顧客紹介に関する業務提携契約を締結し、顧客基盤の強化と販売チャネルの拡大に努めています。

基盤となる契約仲介業者外務員数は6月末に1,239名(前期末比54名増)、IFA部門の預り資産残高は1,922億円(同88億円増)となり、金融商品仲介子会社であるジャパンウェルズアドバイザーズ㈱の提携金融機関における管理資産残高を含む預り資産残高は3,797億円(同8億円増)となりました。

業績面では、株式・投資信託等の受入手数料が増加した半面、債券のトレーディング損益が減少したため、減収・減益となりました。

(証券関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位:百万円)

	2022年3月期 第1四半期連結累計期間	2023年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
営業収益	3,054	2,347	△23.2%
セグメント利益	193	△126	－%

#### ② 不動産関連事業

中古マンションの買取再販を行う㈱マイプレイスは、東京本社(中央区)、横浜本社(横浜市)、新宿営業部(渋谷区)における営業拠点に加え、5月に千葉エリアを担当する首都圏営業部(千葉市美浜区)を設け、取引機会の拡大に努めております。空室物件(後述「タイプA」)及び賃借人付物件(後述「タイプB」)の仕入戸数は、それぞれ144戸、15戸(前年同期は108戸、53戸)となり、販売戸数は127戸(前年同期は164戸)となりました。また、リノベーションの設計・施工を手掛ける㈱バウテックグループにおいては、完工数が203戸(前年同期は195戸)と安定して推移しました。

高齢者施設開発を手掛けるEWアセットマネジメント㈱においては、5月に熊本県熊本市における住宅型有料老人ホームが竣工しました。これにより、稼働中の施設は3件、開発中の施設は2件となりました。

業績面では、中古マンションの販売戸数の減少により、減収・減益となりました。この結果、不動産関連事業の業績は以下のとおりとなりました。

(不動産関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位:百万円)

	2022年3月期 第1四半期連結累計期間	2023年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
営業収益	6,072	5,363	△11.7%
セグメント利益	582	472	△19.0%

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第1四半期連結累計期間	2023年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
営業収益	9,037	7,615	△15.7%
営業利益	523	68	△86.9%
経常利益	459	102	△77.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	313	77	△75.5%

(補足情報)

I. あかつき証券㈱、ジャパンウェルスアドバイザーズ㈱、トレード・サイエンス㈱

あかつき証券㈱は、リテール営業に加え、戦略的に金融商品仲介（IFA）ビジネスの強化、地域金融機関との提携、AI・フィンテックを活用したアドバイス力の強化を進めております。中でも2014年から本格参入しているIFAビジネスは拡大傾向にあります。なお、以下はあかつき証券㈱に同子会社であるジャパンウェルスアドバイザーズ㈱及びトレード・サイエンス㈱を連結した補足情報です。

(a) 経営成績（四半期会計期間毎）

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
営業収益	3,046	3,474	3,227	2,178	2,355	—	—	—
営業利益	186	215	131	△136	△117	—	—	—
経常利益	201	225	133	△145	△97	—	—	—
当期純利益	142	154	83	△36	△48	—	—	—

(b) 預り資産

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
預り資産	321,109	341,681	360,321	378,923	379,748	—	—	—
(うちIFA)	132,286	146,355	168,150	183,401	192,278	—	—	—

(注) あかつき証券㈱とジャパンウェルスアドバイザーズ㈱の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

なお、IFA法人であるジャパンウェルスアドバイザーズ㈱の預り資産（の一部）315億円をリテール部門に移管したため、内訳数値について遡及修正しております。

(c) 契約外務員数

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
契約 外務員数 (人数)	849	994	1,082	1,185	1,239	—	—	—

Ⅱ. ㈱マイプレイス、㈱パウテックグループ、㈱マイプランナー

㈱マイプレイスは、東京都及び神奈川県を中心とした首都圏において、住宅一次取得者層向けの中古マンション事業を行っておりますが、①賃借人なしの空室中古マンションを購入後、直ちにリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプA」といいます。)と、②賃借人付の中古マンションを購入後、一定期間賃料収入を得、賃借人の退去後にリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプB」といいます。)があります。また、㈱パウテックグループは、㈱マイプレイス及び外部の買取再販事業者向けにリノベーションの設計・施工サービスを提供しております。なお、以下は㈱マイプレイス、㈱パウテックグループ及び㈱マイプランナーを連結した補足情報であり、3社間の内部取引を消去したものであります。

(a) 経営成績 (四半期会計期間毎)

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
売上高	5,787	5,067	6,052	6,063	5,197	—	—	—
営業利益	615	502	614	551	510	—	—	—
経常利益	561	465	572	481	443	—	—	—
当期純利益	385	433	394	385	306	—	—	—

(b) 中古マンションの仕入状況 (四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期との増減。)

(単位：戸)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
タイプA	108 (+2)	140 (+52)	118 (+7)	149 (△1)	144 (+36)	—	—	—
タイプB	53 (+48)	27 (+21)	62 (+39)	38 (+5)	15 (△38)	—	—	—
合計	161 (+50)	167 (+73)	180 (+46)	187 (+4)	159 (△2)	—	—	—

(c) 中古マンションの販売状況 (四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期との増減。)

(単位：戸)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
販売戸数	164 (+28)	140 (△92)	151 (△43)	152 (△40)	127 (△37)	—	—	—

(d) 中古マンションの在庫状況 (四半期会計期間末)

(単位：戸)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
タイプA	203	231	240	270	317	—	—	—
タイプB	490	489	509	514	499	—	—	—
合計	693	720	749	784	816	—	—	—

(e) ㈱パウテックグループによるリノベーション完工数 (四半期会計期間毎)

(単位：戸)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
㈱マイプレイス向け	152	109	136	130	157	—	—	—
外販	43	36	54	72	46	—	—	—
合計	195	145	190	202	203	—	—	—

(注) 外販とは、外部の買取再販業者向けの設計・施工サービスとなります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,857百万円増加し、67,040百万円となりました。これは主に、預託金が1,498百万円、販売用不動産が1,899百万円、約定見返勘定が594百万円増加し、現金及び預金が1,094百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ3,065百万円増加し、52,477百万円となりました。これは主に、預り金が2,794百万円、短期借入金が715百万円、ノンリコース長期借入金が392百万円増加し、信用取引借入金が547百万円、信用取引貸証券受入金が224百万円、1年内返済予定の長期借入金が136百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ208百万円減少し、14,563百万円となりました。これは主に、利益剰余金が211百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2022年5月16日の「2022年3月期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,359,983	12,265,113
預託金	13,182,140	14,680,320
トレーディング商品	722,462	368,519
約定見返勘定	55,903	650,715
信用取引資産	2,585,205	2,475,907
信用取引貸付金	2,347,062	2,424,446
信用取引借証券担保金	238,143	51,461
差入保証金	351,245	351,254
販売用不動産	25,100,186	26,999,900
その他	2,043,949	2,341,414
流動資産計	57,401,075	60,133,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	633,358	683,371
土地	384,722	384,722
その他	128,125	159,658
有形固定資産合計	1,146,205	1,227,752
無形固定資産		
のれん	1,345,181	1,291,373
その他	259,718	329,274
無形固定資産合計	1,604,899	1,620,648
投資その他の資産		
投資有価証券	3,170,590	3,196,636
その他	1,053,925	1,055,581
貸倒引当金	△192,974	△192,908
投資その他の資産合計	4,031,542	4,059,308
固定資産計	6,782,647	6,907,709
資産合計	64,183,723	67,040,857



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
トレーディング商品	6,126	48,395
信用取引負債	1,686,543	914,911
信用取引借入金	1,276,627	729,334
信用取引貸証券受入金	409,915	185,576
預り金	12,631,195	15,426,013
受入保証金	673,353	584,558
短期社債	7,000,000	7,000,000
短期借入金	10,791,549	11,507,468
1年内返済予定の長期借入金	2,613,043	2,476,959
ノンリコース1年内返済予定長期借入金	796,670	797,920
未払法人税等	130,099	56,751
その他	2,099,740	2,217,195
流動負債計	38,428,321	41,030,173
固定負債		
長期借入金	7,608,769	7,560,392
ノンリコース長期借入金	1,464,030	1,856,600
退職給付に係る負債	229,196	236,970
役員株式給付引当金	1,001,508	1,052,483
その他	655,496	716,365
固定負債計	10,959,001	11,422,812
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	24,107	24,107
特別法上の準備金計	24,107	24,107
負債合計	49,411,429	52,477,093
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,665,452	5,665,452
資本剰余金	3,131,156	3,131,156
利益剰余金	6,555,544	6,343,928
自己株式	△1,274,558	△1,274,671
株主資本合計	14,077,595	13,865,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,138	13,019
為替換算調整勘定	11,455	13,944
その他の包括利益累計額合計	13,594	26,963
新株予約権	9,529	9,529
非支配株主持分	671,573	661,406
純資産合計	14,772,293	14,563,764
負債・純資産合計	64,183,723	67,040,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業収益		
受入手数料	494,490	620,071
トレーディング損益	2,456,141	1,620,647
金融収益	14,061	11,450
不動産事業売上高	6,072,374	5,363,132
営業収益計	9,037,068	7,615,301
金融費用	8,578	3,301
売上原価		
不動産事業売上原価	4,732,811	4,169,169
売上原価合計	4,732,811	4,169,169
純営業収益	4,295,678	3,442,830
販売費及び一般管理費		
取引関係費	1,774,568	1,436,519
人件費	929,211	1,016,051
不動産関係費	95,896	119,223
事務費	147,214	141,783
減価償却費	34,564	40,495
租税公課	119,104	94,030
販売手数料	141,402	128,379
のれん償却額	53,807	53,807
その他	476,556	343,929
販売費及び一般管理費合計	3,772,326	3,374,218
営業利益	523,351	68,612
営業外収益		
受取配当金	16,301	31,801
投資有価証券売却益	240	—
投資事業組合運用益	7,103	105,630
不動産取得税還付金	29,710	12,208
その他	10,474	14,075
営業外収益合計	63,831	163,715
営業外費用		
支払利息	87,347	100,712
支払手数料	30,162	24,428
その他	10,337	5,182
営業外費用合計	127,847	130,323
経常利益	459,335	102,004
特別損失		
固定資産売却損	152	—
固定資産除却損	3,778	0
特別損失合計	3,930	0
税金等調整前四半期純利益	455,404	102,004
法人税、住民税及び事業税	76,675	△2,621
法人税等調整額	64,643	37,747
法人税等合計	141,319	35,125
四半期純利益	314,084	66,878
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	113	△10,167
親会社株主に帰属する四半期純利益	313,971	77,046

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	314,084	66,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,682	10,880
持分法適用会社に対する持分相当額	672	2,488
その他の包括利益合計	△1,009	13,368
四半期包括利益	313,075	80,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312,961	90,415
非支配株主に係る四半期包括利益	113	△10,167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	2,964,694	6,072,374	9,037,068	—	9,037,068
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	90,007	278	90,286	△90,286	—
計	3,054,701	6,072,653	9,127,354	△90,286	9,037,068
セグメント利益	193,832	582,605	776,438	△253,086	523,351

(注) 1. セグメント利益の調整額△253,086千円には、セグメント間取引消去△90,000千円、全社収益29,876千円及び全社費用△192,962千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去であり、全社収益は主にグループ子会社からの受取賃料、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	2,252,169	5,363,132	7,615,301	—	7,615,301
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	95,000	278	95,278	△95,278	—
計	2,347,169	5,363,411	7,710,580	△95,278	7,615,301
セグメント利益	△126,077	472,004	345,927	△277,315	68,612

(注) 1. セグメント利益の調整額△277,315千円には、セグメント間取引消去△95,000千円、全社費用△182,315千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。